

## 昆虫のみりよく

大庭 真咲・谷野 温・松岡 想・森山 毅一・谷野 順(昆虫友の会)

### 友の会について

ぼくたちは、ふだんは、ばらばらで活動しています。昆虫採集をしたり、標本を作ったり、幼虫を飼育したり、いろんなことをしています。時々、いっしょに虫とりをして、情報交換をしています。虫が好きな人なら誰でもメンバーになれます。

### 共生のひろばでの発表

展示(チョウ目を中心とした昆虫標本、夏休みの昆虫採集記録、昆虫のスケッチ、昆虫折り紙)と、3つのコーナーを準備しました。

- 1) 友虫(ともむし)シールを作って自分に貼ろう

スタンプと色ぬりで作る「友虫シール」は約70人が服や名札に貼ってくれました(※「友虫」は、毎年会うのを楽しみにしているような、親しい虫という意味でつくった言葉です)。虫が好きな小さな男の子からおばあちゃんまで、虫をあまり好きでない人もシールを貼っていました。気に入って、2枚以上作る人もいました。高校の先生が「虫が苦手な子にも興味を持ってもらえそう」と言って写真を撮っていました。



▲トントンずもう

- 2) 昆虫ずもう(折り紙のトントンずもう)

段ボールで作った切り株を土俵に、折り紙のクワガタやカブトムシをたたかかせます。親子で対決している人もいました。親子で対決する様子を見ていると、強いクワガタ力士をなぜか子どもが先に選ぶので、子どもがだいたい勝ちます。おとな同士で楽しんでいる人もいました。

- 3) 虫とり相談コーナー

「ミンミンゼミはどうやったらとれますか?」などの相談はなく、展示している標本についての質問ばかりでした。「この標本はどうやって作ったの?」「この虫は誰がとったの?」「全部自分でとったの?」「どの虫が好きなの?」などの質問が続きました。標本は目立つのでこのような質問があったのだと思います。今回、標本には小さなラベルしか付けてい

なかったもので、別の紙に種名を大きく書いたり、発生する季節ごとに分けたり、すんでいる場所に分けたり、見る人にその虫の持ちょうが分かるように工夫したらよかったと思います。

### これからの活動

これからも、それぞれ目標を持って採集や観察、飼育などしながら、昆虫のみりよくをみんなに伝えていきたいです。